

# 次世代の若者たちが語る 防災のこれからを聞いてみませんか

東日本大震災の発生から、6年目を迎えようとする今。  
その恐ろしさや苦難の記憶を語り継ぐとともに、実体験で学んだ防災の教訓を次世代に継承する使命を私たちは背負っています。  
真の復興を目指す上で、未来に遺すべきものとは何かを、この機会に考えてみませんか。

仙台防災未来フォーラム2017・テーマセッション

## 次世代が語る／次世代と語る — 311震災伝承と防災 —

日時 3月12日(日) 13:00～15:30

会場 仙台国際センター展示棟・会議室4

次世代層に向けた  
発信イベントのため、  
大学生や20代の社会人の  
方々の参加大歓迎です。

参加者  
募集

入場無料

定員100名

### プログラム

企業・団体からの  
プレゼンテーション①

尚綱学院大学(学生ボランティアチーム<sup>たすき</sup>TASKI)  
東日本大震災以降、「つなげる」「つづける」「つたえる」の3つの「つ」を大切に寄り添いの活  
動を展開。「今」見えてきたこと、感じていること、未来へ残すべきものは何かを報告します。

企業・団体からの  
プレゼンテーション②

河北新報社(防災・教育室)  
今年4月にスタートする「311『伝える／備える』次世代塾」の概要  
や意義を説明。会場にブースを設け、申し込みも受け付けます。

講演

フォトジャーナリスト 安田菜津紀さん

トーク  
セッション

「災害伝承の重み ～次世代が担うべきもの」

安田菜津紀さん、志野ほのかさん(石巻西高校3年生)、佐々木奏太さん(宮城教育大学3年生)、吉田祐也さん(東北大学大学院経済学研究科修士1年)  
コーディネーター／武田真一(河北新報社防災・教育室長)

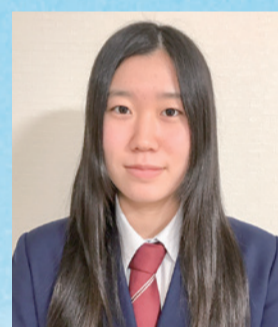


©Rie Nagata

フォトジャーナリスト

安田菜津紀さん

1987年神奈川県生まれ。studio AFTERMODE所属フォトジャー  
ナリスト。16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとし  
てカンボジアで貧困にさらされる子どもたちを取材。現在、カンボジ  
アを中心に、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で貧困や災害  
の取材を進める。東日本大震災以降は陸前高田市を中心に、被災  
地を記録し続けている。2012年、「HIVと共に生まれる -ウガンダの  
エイズ孤児たち-」で第8回取洋之助写真賞受賞。13-14年には、  
全国各地の中学生らと一緒に東北の被災地を巡り、見たこと、感じ  
たことを地元新聞3紙(河北新報、岩手日報、福島民報)で報告する  
「復興中学生企画 被災地を見たよ!」にも携わった。写真絵本に  
『それでも、海へ 陸前高田に生きる』(ポプラ社)、著書に『君とま  
た、あの場所へ シリア難民の明日』(新潮社)。上智大学卒。現  
在、J-WAVE『JAM THE WORLD』水曜日ナビゲーター、TB  
Sテレビ『サンデーモーニング』コメンテーター。



石巻西高校3年生  
志野ほのかさん

東松島市野蒜小6年生の時に  
被災し、自宅と同居の祖父を失  
う。高校で防災について学ぶ中  
で使命感を高め、2015年に語  
り部活動を開始。「災害から一  
人でも多くの命を救う」を胸に  
刻む。



宮城教育大学3年生  
佐々木奏太さん

宮城県南三陸町生まれ。震災時は  
志津川中3年生。高台の自宅は被災  
を免れたが、児童・教職員84人  
が犠牲となった石巻市大川小で教  
員をしていた父親を失う。父親が  
救えなかった命の重さをかみしめ  
つつ、大川小の案内などを務める。



東北大学大学院経済学研究科修士1年  
吉田祐也さん

仙台市出身、尚綱学院職員。  
2010年から5年間、NPO職員と  
して市民活動・まちづくり支援業  
務に従事。現在は仕事の傍ら、津  
波被害を受けた地元の宮城野区  
沿岸部を中心に、震災伝承活動と  
コミュニティ研究を行っている。

### 応募方法

参加ご希望の方は、郵便番号、住所(参加券送付先)、氏名、年齢(学生の方は学校名学年も)、電話番号(日中連絡が付きやすい電話)、参加希望  
人数(参加希望者全員の氏名、年齢)を明記のうえ、はがき、Eメールにてお申し込みください。

応募先 河北新報社 今できることプロジェクト「3/12次世代」係

◎はがき／〒980-8660(住所記入不要) ◎Eメール／imadeki-info@po.kahoku.co.jp

※お申し込みの際は係名を必ずご記入ください。応募者多数の場合は抽選のうえ、参加券の発送をもって当選発表に代えさせていただきます。  
※ご記入いただいた個人情報は河北新報社で管理し、当プロジェクトの運営にのみ使用します。

お問い合わせ／河北新報社営業部 TEL022-211-1318(平日10:00～17:00) ◎主催／河北新報社 ◎特別協賛／日本損害保険協会

応募締切  
2月28日(火) 必着

河北新報社からのお知らせ

2017年4月

311「伝える／備える」次世代塾  
開講決定!

河北新報社では、当事者の肉声をベース  
に学ぶ、震災と向き合う通年講座を開講  
します。震災と防災の要点を学びながら、  
生きる力を身につけたいと考える高校・大  
学生、若手社会人の受講者を募集します。

311「伝える／備える」次世代塾に関するお問い合わせ  
河北新報社防災・教育室 TEL022-211-1591

●詳しくはこちらから

<https://www.facebook.com/311jisedai>

私たちも、復興のために「今できること」をともに考え、このプロジェクトを推進していきます。

IHI/アヴィエスホーム/アサヒビール 東北統括本部/岩手日日新聞社/エイチ・アイ・エス/NTTデータ東北/麒麟ビール 東北統括本部/ケーズデンキ/劇団四季/神戸製鋼所/サッポロビール 東北本部/  
サントリー酒類 東北支社/JA共済連宮城/JTB東北/尚綱学院/進学プラザグループ/住友不動産 東北支店/生命保険協会 宮城県協会/石油連盟/潜匠建設/仙台育英学園/仙台牛銘柄推進協議会/  
ソフトバンク/第一生命 仙台総合支社/大東住宅/DICグラフィックス/伝承千年の宿 佐勘/東北三菱自動車販売/日本製紙/日本製紙クレシア/日本生命 仙台支社/日本損害保険協会/野村不動産 仙台支店/  
はとバス/日立システムズ/平松剛法律事務所/藤崎/富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ/三井不動産 東北支店/三菱地所グループ/宮城県自動車整備振興会/宮城県建設業協会/  
みやぎ生活協同組合/明治安田生命 仙台支社/森永乳業/リコージャパン 宮城支社/河北新報社(順不同)

◎後援/宮城県、仙台市、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会

[お問い合わせ]今できることプロジェクト事務局/河北新報社営業部 tel 022-211-1318